

鋸南町地域雇用創造計画

平成 27 年 5 月
千葉県安房郡鋸南町

目次

I	自発雇用創造地域の区域	1
1	自発雇用創造地域の区域	1
2	要件該当区域であることの明示	1
II	労働力の需要状況その他雇用の動向に関する事項	1
1	地域の概況	1
2	人口、労働力人口、就業構造等の動向	2
3	地域内の労働力需要状況等の雇用面における課題や雇用動向を踏まえた雇用開発計画の方向性	2
III	地域雇用開発の目標に関する事項	3
1	実践型地域雇用創造事業の実施に伴う雇用創出	3
(1)	アウトプット指標	3
(2)	アウトカム指標	5
(3)	当該目標の設定の根拠・当該目標の把握の方法	7
2	実践型地域雇用創造事業以外の雇用創出事業の実施に伴う雇用創出	8
IV	地域の特性を活かして重点的に雇用機会の創出を図る事業の分野に関する事項	8
1	地域重点分野の設定	8
2	地域重点分野に係る市町村自らが当該分野において行う雇用機会の創出に関する施策及び今後の見通し	9
V	地域雇用創造協議会に関する事項	9
1	協議会の名称及び構成員等	9
2	活動内容	9
VI	雇用の創造に資する方策その他当該自発雇用創造地域の地域雇用開発を促進するための方策に関する事項	10
1	地域雇用開発の促進のための措置	10
2	地域雇用開発の促進に資する市町村の取組	15
VII	計画期間に関する事項	15
VIII	自発雇用地域内において事業協同組合等が労働者の募集に従事しようとする場合にあっては当該事業協同組合等に関する事項	16

I 自発雇用創造地域の区域

1 自発雇用創造地域の区域

千葉県安房郡鋸南町

2 要件該当区域であることの明示

当町は、館山公共職業安定所管内に所在し、館山公共職業安定所における最近3年間及び最近1年間における有効求人倍率は下表のとおりとなっており、常用の有効求人倍率で3年間平均が全国平均を下回っており、要件を満たしている。

		有効求職者数 (月平均)	有効求人数 (月平均)	有効求人倍率 (館山公共職業安定所)	有効求人倍率 (全国)
一 般	平成24年	1,903	1,775	0.93	0.80
	平成25年	1,979	1,793	0.91	0.93
	平成26年	1,760	2,224	1.26	0.89
	3年間平均	1,881	1,931	1.03	0.87
常 用	平成24年	1,299	804	0.62	0.64
	平成25年	1,381	763	0.55	0.74
	平成26年	1,163	972	0.84	0.69
	3年間平均	1,281	846	0.67	0.69

II 労働力の需要状況その他雇用の動向に関する事項

1 地域の概況

千葉県鋸南町は房総半島の南西部に位置し北に鋸山を東側に嶺岡山系を背負い、里海から里山までの起伏に富んだ海岸線や稜線が印象的な町である。昔から「鋸山を越えると肌着が一枚いらぬ」と言われるほど温暖な気候に恵まれ、北国で雪の便りが聞かれる12月には水仙が、2～3月には頼朝桜（河津桜）が咲き乱れるなど観光資源にもなっている。

文化・歴史面では「見返り美人」で有名な浮世絵の祖と呼ばれる菱川師宣生誕の地、日本一大きな石仏が鎮座し南房総有数の観光地である鋸山の日本寺、夏目漱石の避暑地が有名で、企業や学校の保養所も多い。また、町民同士は互いを名前や屋号で呼び合い、祭りも多く、景観維持・地域ガイド・グルメイベントなどの活動もさかんで、自然・文化・歴史すべての面で日本の原風景らしさが残っている。

町の基幹産業は、食用ナバナを中心に栽培している農業と東京湾の複雑な地形を活かした沿岸漁業である。また、都市から近い立地を活かし、早春には水仙や桜といった地域資源を活用した観光業も盛んである。

このような中、鋸南町では人口減少と高齢化が進んでおり、特に基幹産業である第一次産業の後継者不足、担い手不足が産業の維持にとって深刻な問題となっている。また、特産品はあるもののブランド化や六次産業化が遅れている。

観光に関しても、高速道路の整備に伴い日帰り観光が主体となっていることから、観光客の滞在時間が減少し、町内の飲食店や宿泊業の経営を圧迫しており、町内での雇用

が創出されにくい環境にある。

2 人口、労働力人口、就業構造等の動向

(1) 労働力需給状況

ア 人口

鋸南町の人口は8,950人（平成22年国勢調査）で、平成17年と比較して828人（8.5%）の減少となっている。

また、高齢化率についても、65歳以上の高齢者が人口に占める割合を示す高齢化率は、37.2%（平成22年国勢調査）であり、県平均（21.5%）よりも15.7ポイントも上回っている。

イ 労働力人口

平成22年の国勢調査によると、本町の労働力人口は4,553人で、平成17年と比較すると12.3%の減少となっている。年齢構成別では、15～34歳で22.9%の減少、35～44歳では6.6%の減少、45～59歳では21%の減少となっており、特に若年層と中高年層での減少が顕著である。

ウ 就業構造

平成22年の国勢調査によると、本地域の就業者数は、4,292人で、平成17年に比べて13.7%の減少となっている。

そして、就業者数を産業別に見ると、第1次産業従事者が16.8%、第2次産業従事者が16.4%、第3次産業従事者が66.8%となっており、千葉県平均に比べ、第1次産業が13.8ポイント高く、第2次産業が4.1ポイント低く、第3次産業が9.6ポイント低くなっている。

また、平成24年の経済センサス-活動調査による本地域に所在する事業所の産業別の従業者数の構成比は、卸売業・小売業が25.6%と最も高く、次いで宿泊業・飲食サービス業が18.1%、医療・福祉が12.9%、建設業が9.7%、製造業が8.6%となっている。

エ 求人求職の状況

本地域（館山公共職業所管内）における常用の有効求人倍率で3年間平均が、全国平均を下回っている。

3 地域内の労働力需要状況等の雇用面における課題や雇用動向を踏まえた雇用開発計画の方向性

【雇用面における課題】

基幹産業である農業・漁業分野については、高齢化や人口減少に伴い従事者数の減少が著しく、農業従事者については昭和32年に2,871人であったのが、平成22年には574人まで減少している。漁業従事者についても昭和32年に1,089人であったのが、平成22年には119人まで減少しており、町の基幹産業を維持・継続していくためには、後継者育成や、収益拡大策に取組み、従事者数の維持を図る必要がある。

また、観光と食分野と医療・福祉分野では、地元事業者のヒアリングにより人材不足が慢性化していることがわかり、人材供給の抜本策に取り組む必要がある。

町内事業者のほとんどが家族経営の零細事業者であり、大企業の支店等も少なく、地域全体に組織的な働き方の知見がない。メンバーやリーダー・管理職になる人材に、組織的な働き方や組織の動かし方のスキルを付与する必要がある。

【雇用動向】

このような状況のなか、鋸南町は、地域活性化の起爆剤としてインターチェンジ近くの好立地にある廃校を「道の駅保田小学校」としてリノベーションし、平成27年末に開業する予定で準備を進めている。

「道の駅保田小学校」の開業は、首都圏や羽田・成田両国際空港から車で1時間前後と近く、首都圏客はもちろん、平成32年東京オリンピックでの観光誘客などインバウンド集客も期待できることから、絶好の雇用創造機会となることが期待される。

そのため、「農業・漁業」「食と観光」「医療・福祉」を重点分野に設定し、町内の事業者にあったきめ細やかな活性化策を推進することで、新たな雇用の創造や拡大、就業促進を図る。

III 地域雇用開発の目標に関する事項

1 実践型地域雇用創造事業の実施に伴う雇用創出

(1) アウトプット指標

イ 雇用拡大メニュー（利用社企業数）

①1年度目	25事業者
②2年度目	40事業者
③3年度目	40事業者
合計	105事業者

ロ 人材育成メニュー（利用者数）

①1年度目	81人【地域求職者62人、在職者19人】
②2年度目	81人【地域求職者60人、在職者21人】
③3年度目	81人【地域求職者60人、在職者21人】
合計	243人【地域求職者182人、在職者61人】

ハ 就職促進メニュー（利用者数）

①1年度目	20人【地域求職者15人、在職者5人】
②2年度目	20人【地域求職者15人、在職者5人】
③3年度目	20人【地域求職者15人、在職者5人】
合計	60人【地域求職者45人、在職者15人】

アウトプット指標の内訳

【鋸南町】		アウトプット指標					
実施メニュー		1年目	2年目	3年目	計		
雇用拡大メニュー: 単位(社)		小計	25	40	40	105	
(1) 新規就農・農業参入セミナー			5	10	10	25	
(2) 漁業経営改善セミナー			5	5	5	15	
(3) 六次産業化セミナー			5	5	5	15	
(4) 実践メニュー効果物公開セミナー			10	20	20	50	
人材育成メニュー: 単位(人)		小計	81	81	81	243	
		求職者	62	60	60	182	
		在職者	19	21	21	61	
			0	0	0	0	
(1) ビジネス・ベーシックスキル習得研修		小計	36	36	36	108	
		求職者	27	27	27	81	
		在職者	9	9	9	27	
			0	0	0	0	
① 地域ビジネス・スキルアップ研修		小計	20	20	20	60	
		求職者	15	15	15	45	
		在職者	5	5	5	15	
			0	0	0	0	
② 管理職層求職者向けスキルアップ研修		小計	8	8	8	24	
		求職者	6	6	6	18	
		在職者	2	2	2	6	
			0	0	0	0	
③ 一般求職者向けスキルアップ研修		小計	8	8	8	24	
		求職者	6	6	6	18	
		在職者	2	2	2	6	
			0	0	0	0	
(2) みんなdeおもてなし、観光と食の担い手発掘・育成研修		小計	35	35	35	105	
		求職者	27	27	27	81	
		在職者	8	8	8	24	
			0	0	0	0	
① エコツーリズム担い手養成講座		小計	10	10	10	30	
		求職者	9	9	9	27	
		在職者	1	1	1	3	
			0	0	0	0	
② 接客・販売力・サービス力アップ研修		小計	20	20	20	60	
		求職者	15	15	15	45	
		在職者	5	5	5	15	
			0	0	0	0	
④ 食の担い手育成研修		小計	5	5	5	15	
		求職者	3	3	3	9	
		在職者	2	2	2	6	
			0	0	0	0	
(3) みんなde介護、介護職員初任者研修		小計	10	10	10	30	
		求職者	8	6	6	20	
		在職者	2	4	4	10	
			0	0	0	0	
就職促進メニュー: 単位(人)		小計	20	20	20	60	
		求職者	15	15	15	45	
		在職者	5	5	5	15	
			0	0	0	0	
(1) 就業・移住定住に関するトータル情報提供		小計				0	
		求職者				0	
		在職者				0	
						0	
(2) 就職面談会の開催		小計	20	20	20	60	
		求職者	15	15	15	45	
		在職者	5	5	5	15	
						0	
雇用創出実践メニュー: 単位(人)						0	
						0	
(1) 特産品を活用した六次産業化事業		小計	0	0	0	0	
		求職者				0	
		在職者				0	
						0	
(2) 観光と食・サービス開発事業		小計	0	0	0	0	
		求職者				0	
		在職者				0	
						0	
合計		単位(社)	合計	25	40	40	105
		単位(人)	合計	101	101	101	303
		単位(人)	求職者	77	75	75	227
		単位(人)	在職者	24	26	26	76
		単位(人)					

(2) アウトカム指標

① 1年度目	48人（常雇29人、常雇以外19人、創業者0人）
② 2年度目	54人（常雇31人、常雇以外20人、創業者3人）
③ 3年度目	55人（常雇29人、常雇以外20人、創業者6人）
合計	157人（常雇89人、常雇以外59人、創業者9人）

アウトカム指標の内訳

【鋸南町】		アウトカム指標				
実施メニュー		1年目	2年目	3年目	計	
雇用拡大メニュー: 単位(人)		小計	6	9	9	24
		常用雇用	2	3	2	7
		常雇以外	4	4	4	12
		創業	0	2	3	5
(1) 新規就農・農業参入セミナー		小計	3	4	4	11
		常用雇用	1	1	1	3
		常雇以外	2	2	2	6
		創業	0	1	1	2
(2) 漁業経営改善セミナー		小計	1	2	2	5
		常用雇用	0	1	0	1
		常雇以外	1	1	1	3
		創業	0	0	1	1
(3) 六次産業化セミナー		小計	2	3	3	8
		常用雇用	1	1	1	3
		常雇以外	1	1	1	3
		創業	0	1	1	2
(4) 実践メニュー効果物公開セミナー		小計	0	0	0	0
		常用雇用	0	0	0	0
		常雇以外	0	0	0	0
		創業	0	0	0	0
人材育成メニュー: 単位(人)		小計	32	35	35	102
		常用雇用	18	19	17	54
		常雇以外	14	15	15	44
		創業	0	1	3	4
(1) ビジネス・ベーシックスキル習得研修		小計	7	8	8	23
		常用雇用	4	4	3	11
		常雇以外	3	3	3	9
		創業	0	1	2	3
① 地域ビジネス・スキルアップ研修		小計	3	4	4	11
		常用雇用	2	2	1	5
		常雇以外	1	1	1	3
		創業	0	1	2	3
② 管理職層求職者向けスキルアップ研修		小計	2	2	2	6
		常用雇用	1	1	1	3
		常雇以外	1	1	1	3
		創業	0	0	0	0
③ 一般求職者向けスキルアップ研修		小計	2	2	2	6
		常用雇用	1	1	1	3
		常雇以外	1	1	1	3
		創業	0	0	0	0
(2) みんなdeおもてなし、観光と食の担い手発掘・育成研修		小計	17	19	19	55
		常用雇用	10	10	10	30
		常雇以外	7	9	8	24
		創業	0	0	1	1
① エコツーリズム担い手養成講座		小計	4	6	6	16
		常用雇用	1	1	2	4
		常雇以外	3	5	4	12
		創業	0	0	0	0
② 接客・販売力・サービス力アップ研修		小計	10	10	10	30
		常用雇用	8	7	7	22
		常雇以外	2	3	3	8
		創業	0	0	0	0
④ 食の担い手育成研修		小計	3	3	3	9
		常用雇用	1	2	1	4
		常雇以外	2	1	1	4
		創業	0	0	1	1
(3) みんなde介護、介護職員初任者研修		小計	8	8	8	24
		常用雇用	4	5	4	13
		常雇以外	4	3	4	11
		創業	0	0	0	0
就職促進メニュー: 単位(人)		小計	5	5	5	15
		常用雇用	4	4	4	12
		常雇以外	1	1	1	3
		創業	0	0	0	0
(1) 就業・移住定住に関するトータル情報提供		小計				0
		常用雇用				0
		常雇以外				0
		創業				0
(2) 就職面談会の開催		小計	5	5	5	15
		常用雇用	4	4	4	12
		常雇以外	1	1	1	3
		創業	0	0	0	0
雇用創出実践メニュー: 単位(人)		小計	5	5	6	16
		常用雇用	5	5	6	16
		常雇以外	0	0	0	0
		創業	0	0	0	0
(1) 特産品を活用した六次産業化事業		小計	2	2	3	7
		常用雇用	2	2	3	7
		常雇以外	0	0	0	0
		創業	0	0	0	0
(2) 観光と食・サービス開発事業		小計	3	3	3	9
		常用雇用	3	3	3	9
		常雇以外	0	0	0	0
		創業	0	0	0	0
合計	単位(社)	合計	48	54	55	157
	単位(人)	常用雇用	29	31	29	89
	単位(人)	常雇以外	19	20	20	59
	単位(人)	創業	0	3	6	9

(3) 当該目標の設定の根拠・当該目標の把握の方法

①アウトプット指標設定の根拠

イ 雇用拡大メニュー（利用企業数）

1年度目は構成員に対するヒアリングを通じて利用が想定された社数とした。

2年度目以降は、実践メニューの効果で第1次製品の生産量の安定化が図られることから、規模拡大を考える個人や事業者を1年目と同等レベルで確保できるものと想定した。

ロ 人材育成メニュー（利用者数）

ビジネスベーシックスキル習得研修は、各講座で創業や就労支援実績がある講師へのヒアリング等を通じ、1回あたりの適切な研修人数を設定した。

みんなdeおもてなし、観光と食の担い手発掘・育成研修は民間企業向けに高い就労実績がある企業へのヒアリング等を通じ、1回あたりの適切な研修人数を設定した。

みんなde介護、介護職員初任者研修は、保健福祉課や医療・福祉関係者へのヒアリング等を通じ、現在の就労者の伝手等を活用して募集できる可能性があると思われる人数を設定した。

ハ 就職促進メニュー（利用者数）

町内は26区で構成されている。町報および区長会などを活用したPRにより各区1名程度の就職促進ができる目標とするが、過疎地域で世帯数が減少している地域等の現状では応募が難しいという個別状況も鑑みて20名と設定した。

②アウトカム指標設定の根拠

イ 雇用拡大メニュー

比較的地域ニーズが高いと想定し、アウトプットに対する割合を、H26年度一般職業紹介状況〔実数〕（含パート）の対新規充足率並みの20%より高めの30~50%と考えた。農林漁業分野は個人事業主が多いため、1社を1人として試算した。

ロ 人材育成メニュー

ビジネスベーシックスキルについては、アウトプットに対する割合を、H26年度一般職業紹介状況〔実数〕（含パート）の対新規充足率20%とほぼ同率とした。

当町の雇用ニーズが高い観光と食の担い手発掘・育成研修については、民間企業向けに研修実績がある企業へのヒアリングに基づき50%とした。

介護職員初任者研修については、類似の研修を神奈川県下で実施してきた事業者の過去の研修終了後の就職率が80%以上であることから、アウトカム/アウトプット比率を80%と設定した。

ハ 就職促進メニュー

アウトプットに対する割合を、H26 年度一般職業紹介状況〔実数〕（含パート）の対新規充足率 20%より若干高めの 25%程度とした。

③当該目標の把握の方法

各事業を利用した求職者等へのアンケート調査を行う。

【参考】

◇地域求職者等の主な就職予定者先

- ・一次産業での新規創業や異業種から参入した事業者
- ・道の駅保田小学校
- ・ようこそ鋸南プロジェクト
- ・宿泊施設や飲食店
- ・病院及び町内、近隣の介護福祉サービス事業者 等

※なお、アウトプット・アウトカムの目標数値については、計画期間内における毎年度の「実践型地域雇用創造事業・事業実施計画」及び「実践型地域雇用創造事業・事業実施委託契約」において計画するアウトプット・アウトカムの目標数値の本計画期間内合計値が変更された場合は、変更後のアウトプット・アウトカムの目標数値を本計画変更後のアウトプット・アウトカムの目標数値と見なし、本計画の変更手続きは経ないこととする。

2 実践型地域雇用創造事業以外の雇用創出事業の実施に伴う雇用創出

上記 1 の実践型地域雇用創造事業の実施による雇用創出の他、本町においては、下記の「IV 雇用の創造に資する方策その他当該自発雇用創造地域の地域雇用開発を促進するための方策」の「2 地域雇用開発の促進に資する市町村の取組」の各種事業の実施を通じ、地域産業の活性化及び新産業の創出を促進するとともに、地域内の雇用機会の増大を図り、計画期間において、地域内の新規雇用創出人数を 150 人以上とすることを目標とする。

IV 地域の特性を活かして重点的に雇用機会の創出を図る事業の分野に関する事項

1 地域重点分野の設定

- (1) 農業・漁業
- (2) 観光と食
- (3) 医療・福祉

2 地域重点分野に係る市町村自らが当該分野において行う雇用機会の創出に関する施策及び今後の見通し

【農業・漁業】

新規就農や農業参入・規模拡大を考える個人や事業者に対するセミナーや、当町の主要特産品を活用した加工品開発など、町の六次産業化に関わる事業者を拡大するためのセミナー等を実施し、雇用の維持・拡大を目指す。

【観光と食】

「感動旅行と交流が楽しめる町」と広く感じてもらえるように、地域食材と調理法を組合わせた観光振興事業を推進する。具体的には、食物アレルギーや慢性疾患、メンタル改善メニューを組み込んだ旅行サービスを開発することとする。特に、平成27年の道の駅保田小学校開業等で、観光客の呼び込みや観光と食に関わる多様な人材を必要としており、町全体でおもてなしのスキルアップに取り組むことで、雇用の創出を目指す。

【医療・福祉】

高齢化率が42.9%（平成27年4月時点）と高いことに加え、介護人材が不足していることから人材確保のための資格取得支援を実施し、収入増による雇用創出を目指す。

V 地域雇用創造協議会に関する事項

1 協議会の名称及び構成員等

協議会の名称

鋸南町雇用創造協議会

主な構成員

- (1) 鋸南町
- (2) J A安房鋸南支店
- (3) 道の駅保田小学校（仮）直売所出荷組合
- (4) 鋸南町勝山漁業協同組合
- (5) 鋸南町保田漁業協同組合
- (6) 鋸南町商工会
- (7) 鋸南町観光協会
- (8) 道の駅保田小学校（仮）運営協議会
- (9) 鋸南町国民健康保険鋸南病院きさらぎ会
- (10) 鋸南町介護・福祉サービス事業者連絡会議参加事業者
- (11) ようこそ鋸南プロジェクト
- (12) 鋸南町金融団

2 活動内容

鋸南町雇用創造協議会では、厳しい雇用状況や少子高齢化、人口減少といった状況下に

ある鋸南町において、地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出を目的として、各種事業に取組みものとする。

VI 雇用の創造に資する方策その他当該自発雇用創造地域の地域雇用開発を促進するための方策に関する事項

1 地域雇用開発の促進のための措置

(1) 地域雇用開発助成金の活用

地域雇用開発促進法に基づく雇用情勢の特に厳しい地域である雇用開発促進地域その他の雇用開発が必要な地域において、雇用開発に取り組み事業主を支援するため、地域雇用開発助成金を支給する。

(2) 実践型地域雇用創造事業の活用

① 雇用拡大メニュー

イ 新規就農・農業参入セミナー

【事業内容】

新規就農や農業参入・規模拡大を考える個人や事業者に対して、検討段階から農業法人設立まで、各種のセミナーを実施する。

【対象者】

新規就農希望者、異業種からの農業参入希望者、農家

【事業実施期間】

平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月

ロ 漁業経営改善セミナー

【事業内容】

事業主を対象に、六次産業化等の情報を提供し、当町における漁業経営の課題を洗い出し、今後の方向性と対策を明確にし、漁業経営の改善を通じた雇用の維持・拡大を図る。

【対象者】

新規就業希望者、異業種からの漁業・水産加工参入希望者、町内の漁業関係事業者

【事業実施期間】

平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月

ハ 六次産業化セミナー

【事業内容】

当町の主要特産品である食用ナバナ、魚介類や町内資源である桜や水仙といった花卉を活用した加工品開発など、町の六次産業化に関わる事業者を拡大するため、素材の理解や商品加工の技術習得、販売等に関するセミナー等を実施し、雇用の維

持・拡大を推進する。

【対象者】

食に関心が高く、食品加工や食を提供する分野での創業希望者、食品加工等分野での事業拡大を検討している事業者等

【事業実施期間】

平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月

二 実践メニュー成果物公開セミナー

【事業内容】

事業主及び創業予定者等を対象に実践メニューで開発した商品やノウハウ等を公開し、地域内企業等の事業拡大、ひいては雇用拡大に繋げる。

【対象者】

地域内の一次産業、加工業、飲食業、宿泊・観光事業者等

【事業実施期間】

平成 27 年 11 月～平成 30 年 3 月

② 人材育成メニュー

イ ビジネス・ベーシックスキル習得研修

【事業内容】

当町の雇用面には「自らのまちの価値に気づくことができていない」「組織的な行動ができない」という課題がある。

これらの当町の雇用面における課題を解決し、本事業を推進するため、「組織として成果を出すスキル」不足の地域求職者に対して、ロジカルシンキング・コミュニケーション・リーダーシップ・コーチングといった研修を提供し、雇用創出実践メニュー等の担い手となる人材に対して「組織的に働く」ためのスキル習得を支援する。

【対象者】

地域内求職者及び在職者

【想定される就職先】

一次産業での新規創業や異業種から参入した事業者、道の駅保田小学校、ようこそ鋸南プロジェクト等

【事業実施期間】

平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月

ロ みんな de おもてなし、観光と食の担い手発掘・育成研修

【事業内容】

当町では、平成 27 年末の道の駅保田小学校開業、平成 32 年東京オリンピックにおける訪日外国人観光客の呼び込みなど、観光と食に関わる多様な人材を必要とし

ている。町民それぞれの個性にあった分野でのおもてなしスキルアップを支援し、求職者の早期就職や、創業者増に繋げる。

【対象者】

地域内求職者及び在職者

【想定される就職先】

道の駅保田小学校、宿泊施設、飲食店、直売所等

【事業実施期間】

平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月

ハ みんな de 介護、介護職員初任者研修

【事業内容】

ニーズの高い介護系人材を育成するため、介護現場の体験や基本的な資格取得を支援し、無職者の早期有職化、無資格者の有資格化による収入増に繋げる。

【対象者】

地域内求職者及び在職者

【想定される就職先】

鋸南病院、町内および近隣の介護・福祉サービス事業者等

【事業実施期間】

平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月

③ 就職促進メニュー

イ 就業・移住定住に関するトータル情報提供

【事業内容】

地域内企業と求職者に対して協議会が実施する各種セミナー等の告知や周知、鋸南町のさまざまな就労機会の情報提供と、就労するために必要な移住定住に関する情報提供など、町内外の潜在的な就労者に必要な情報を統合的に提供するサイト及び情報誌を制作する。また雇用創出実践メニューの進捗状況を発信する。

【事業実施期間】

平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月

ロ 就職面談会の開催

【事業内容】

地域内企業と地域求職者を対象としたミニ就職面接会の開催と実践型事業の各種セミナーの案内及び成果についての情報提供を行うことで地域求職者の就業機会の確保と早期就業に資する支援を行う。

【事業実施期間】

平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月

④ 雇用創出実践メニュー

イ 産品を活用した六次産業化事業

【事業内容】

当町の主要特産品である食用ナバナや町内資源の桜等の花卉を活用した加工品を町内店舗や生産者と連携し開発する。この加工品を軸に町及び国内外に商品をPRし、町の魅力の認知度を高めると共に、付加価値を高める六次産業化を推進することにより売上の拡大と雇用創出を目指す。

具体的には、①町の主要産品である「食用ナバナ」の廃棄部分や花を利用した加工品、②町の観光資源である「頼朝桜（河津桜）」の花を利用した食用加工品および染物、③魚介類やトマトなどの魚介類と相性のいい野菜を原料としたパスタソースなどの加工品を開発する予定である。

事業立ち上げ時に連携する経済団体としては、①②については、町内の建築関係事業者と若手農業者を想定している。③については、町内の既存の農産物等の加工団体や飲食店経営者等を想定している。また、この事業領域に詳しいまたは意欲あるUIJターン者の募集・就労を想定している。

販路は、まずは平成27年12月開業予定の、廃校利用・道の駅保田小学校での販売を考えている。継いで、通販はもちろん、首都圏のレストラン等の事業者への販路開拓、最終的にはいずれかの有望な商品での輸出を検討している。

事業期間が3年間と限られているため、この期間中に通常の新規事業立ち上げの1クールをまわし、次の創業につなげる時間感覚で事業を設計した。平成27年度にコア商品を確定させ、平成28年度は前年商品のブラッシュアップと創出できた知見を広く町内事業者に公開して町内商工業者および生産者と連携した商品開発を推進する。平成29年度には原材料調達拡大と開発した商品の拡充・拡販を実施し、以降の事業持続を目指す。

【事業で開発した成果物の具体的な活用方法】

・食用ナバナ

食用ナバナについて、葉・茎・花といった廃棄部分を商品化することにより、生産者の所得向上と、生産量拡大による雇用創出が見込まれる。また、大田市場では有名で歴史もあり出荷額日本一でもある鋸南ブランドのナバナを使った加工品を開発し、町内飲食店等で広く活用する機運をつくることで、「鋸南ナバナ」ブランドを大田市場の玄人だけの知名度から、一般人にも広く知られるようブランド化し、新たな産業の創出と経営人材や雇用創出を目指す。

・花卉

町内の観光資源である桜や水仙及び町内花卉産品を統合的に加工・商品化し、観光だけ農業だけの資源活用だけでなく、観光+農業+αに踏み出した新しい商品を見出し、町の魅力を全国や海外に発信することにより、観光客増加による雇用創出

を目指す。

- ・魚介類や野菜など

具材として魚介類や野菜の併売につながるような、パスタソースといった加工品を商品化し、本事業全体の経済効果を高める。また一年中野菜も魚もとれる温暖な気候を生かし、年間を通じて、そのとき旬の食材を加工するノウハウを獲得し、常雇拡大につなげる。さまざまな製品に対しての加工ノウハウができることで、町民の自主的な新商品・サービス開発が見込まれる。

【販路開拓のノウハウ、販路】

販路開拓の考え方、ツール、アプローチ手法、ブランドづくりの成功や失敗体験等の情報公開を徹底し、それぞれのサービスや商品の事業拡大や創業、雇用創出を支援する。

【事業実施期間及び実施スケジュール】

平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月

ロ 観光と食・サービス開発事業

【事業内容】

「感動旅行と交流が楽しめるまち、鋸南」と広く思ってもらえるよう、地産食材と調理の新機軸を組み合わせた観光事業を振興し、雇用につなげる。

雇用につながる観光事業とは、地域(受入地)側で食物アレルギーや慢性疾患といった特別な調理が必要となる“食”を軸にした旅行サービスを提供する。鋸南町の強みは、コンパクトだが本物の日本らしさ(起伏に富んだ海岸線に浮かぶ浮島・鋸山・日本一大きな石仏がある日本寺・見返り美人・祭り・四季の花々など)と地産の食材(伊勢海老・あわび・金目鯛・アジ・菜の花・そら豆・エンダイブ・夏みかんなど)であり、調理の新機軸という、受入地でのひと手間を加えることで、食物アレルギー等を理由に旅行を楽しめない方が旅行を楽しめるようになる等、観光業界として対処があまり出来ていなかった層の幸福感の向上につながり、鋸南独特の感動と交流を生み出せる。

想定している旅行商品群は、それぞれ、アレルギー対応等の特別な調理と綿密な旅行前顧客対応を伴い、いままでにないサービスを実施することで顧客を獲得し、事業拡大の必要性等から雇用を生む。

また、開発した旅行や料理の機能検証、地域事業者の習熟度向上、そして、今後の顧客ベースの核にするため、モニターツアーを計画する。モニターツアー自体は有償の旅行だが、リスクをとって頂くことと詳細なツアー評価に参加して頂くインセンティブとして、新たに開発した食事等の評価対象部分を事業費で負担する。

【事業で開発した成果物の具体的な活用方法】

地産食材(新鮮、おいしい)を活用し、特別な調理が必要なニーズを取り上げ、プレミアムプライシングが可能な旅行サービスを開発し、観光客やインバウンド客

へのサービス提供を実施し、食と観光に関わる事業者のサービス力と集客力を高めることで、収益増を図り、事業拡大等による雇用創出を目指す。

【事業実施期間及び実施スケジュール】

平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月

2 地域雇用開発の促進に資する市町村の取組

① 鋸南町都市交流施設整備事業

【事業内容】

都市と地方が交流する拠点として、廃校した小学校を「道の駅保田小学校」としてリノベーションし、平成 27 年末開業予定で準備を進めている。この道の駅保田小学校では、24 時間利用可能なトイレや駐車場、直売所や物販施設、飲食店、簡易宿泊施設や温浴施設、情報ラウンジ、こどもの遊び場を有した複合施設となる予定である。首都圏や空港から車で 1 時間前後の立地条件やオリンピック効果により、観光客やインバウンド集客が期待でき、絶好の雇用創造機会になると期待されている。

【実施主体】

鋸南町

【活用する補助】

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金（農林水産省）

【事業実施期間】

平成 24 年度～平成 28 年度

② ようこそ鋸南プロジェクト

【事業内容】

官民協働の地域活性化団体「ようこそ鋸南プロジェクト」を発足し、地域住民と連携し、「ふるさとの魅力発見（鋸南町ファンを増やすための検討と活動）」「道の駅保田小学校などを活用した PR」「国際交流の促進」を実施している。

【実施主体】

ようこそ鋸南プロジェクト

【活用する補助】

都市農村共生対流総合対策交付金（農林水産省）

【事業実施期間】

平成 26 年度～平成 28 年度

VII 計画期間に関する事項

厚生労働大臣の同意を得た日から平成 30 年 3 月 31 日までとする。

ただし、計画期間中における地域内の経済、雇用情勢の変化や外的な状況の変化に対応す

るため、必要に応じて本計画の変更を検討することとする。

※なお、本計画に盛り込まれた上記「IV-1-(2)実践型地域雇用創造事業の活用」の本事業構想・施策の展開にあたって、別途、実践型地域雇用創造事業の事業構想として選抜された後は、本計画期間終了日については、当該事業の終了日までとする。

VIII 自発雇用地域内において事業協同組合等が労働者の募集に従事しようとする場合にあっては当該事業協同組合等に関する事項

該当なし